日医認定産業医制度研修会開催一覧

◇産業保健部◇

詳細につきましては主催元（下記「連絡先」欄）へお問い合わせください。
＊今後の状況により開催が延期・中止となる場合がございます。

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
令和8年9月15日（火） 18：30～22：30 ※詳細は8月号附録にて案内済 第3回産業保健研修会	岩見沢平安閣 （岩見沢市） 定員：80名 ※下記URLよりお申し込みください https://x.gd/ROkuZ （事前に申し込みが必要です）	・DVD研修「熱中症は必ず防げる －管理と機器・保護具を上手に活用－」 ・労働安全衛生法等について 岩見沢労働基準監督署 ・自律的化学物質管理及びアスベスト・低線量放射線曝露問題 北海道産業保健総合支援センター所長　森　満 ・定年延長と職場のメンタルヘルス 医療法人資生会千歳病院認知症疾患医療センター長　中野　倫仁	基礎研修 実地1・後期3 生涯研修 更新1・実地1・専門2	北海道医師会 事業第三課 （011-231-1726）
令和8年9月29日（火） 14：00～16：30	北海道自治労会館 （札幌市） 定員：90名 （事前に申し込みが必要です）	・安全配慮義務・健康配慮義務 弁護士法人英知法律事務所弁護士　淀川　亮 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修　専門2.5	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月1日（木） 18：30～20：30	小樽経済センター （小樽市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・職場における産業医の役割 －産業医に関わる法律と職場での具体的事例の検討－ アンビシャス総合法律事務所弁護士・特定社会保険労務士　澤井　利之 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修 更新1・実地1	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月7日（水） 18：30～20：30	帯広経済センタービル （帯広市） 定員：60名 （事前に申し込みが必要です）	・改正労働施策総合推進法による治療と仕事の両立支援の努力義務化 北海道労働保健管理協会医療本部長　飯田　和久 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修　更新2	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月8日（木） 18：30～20：30	札幌市医師会館 （札幌市） 定員：300名 参加費：1,000円 **※札幌市産業医協議会会員は無料** （事前に申し込みが必要です）	・国内外の新興ウイルス感染症流行と職場感染症対策アップデート2026： ブンディブギョウイルス、アンデスウイルス、エゾウイルス、SFTSウイルス 市立函館保健所所長　西條　政幸 ※詳細はこちら https://www.sapporo-sanpo.com/sangyoui/ **［申込期間：9月7日（月）～9月25日（金）］**	基礎研修　後期2 生涯研修　専門2	札幌市医師会 （011-611-4181）
令和8年10月11日（日） **～10月12日（月・祝）**	ニューオータニイン札幌 （札幌市） 定員：11日　各244名 12日　各　76名 参加費：学会参加費 【事前：会員　15,000円、 非会員17,000円、 その他5,000円】 【当日：会員18,000円、 非会員20,000円、 その他5,000円】 （事前に申し込みが必要です）	【第39回日本臨床内科医学会】 ［10/11（日）］ 13：40～14：40 ・最初の１本を吸わない教育を ～喫煙防止教室実践38年～ 日本臨床内科医会公益事業委員会委員長／みかわクリニック院長 豊田　茂樹 14：50～15：50 ・AIを利用した健診データからの疾病発症予測： 今はここまで分かる～画像診断からエビデンス創出～ 札幌医科大学医学部脳神経外科講座准教授　秋山　幸功 16：00～17：00 ・最新の脂質管理と心血管疾患の知識 医療法人札幌ハートセンター理事兼CCMO／札幌心臓血管クリニック循環器内科 佐藤　勝彦 ［10/12（月・祝）］ 9：00～10：00 ・働き方改革後の最近の労働状況と生活状況 北海道産業保健総合支援センター所長　森　満 10：10～11：10 ・産業保健の立場からみた最近の医療・介護の状況 北海道産業保健総合支援センター所長　森　満 11：20～12：20 ・産業医が関与する労務問題と対応実務 e-労務株式会社／e-労務事務所会長　田中　猛 13：40～14：40 ・JAK阻害薬関連の話題 札幌医科大学医学部皮膚科学講座講師　菅　裕司 北海道大学名誉教授／総合病院浦河赤十字病院特別顧問　渥美　達也 ※お申し込みはこちら（第39回日本臨床内科医学会HP） https://www.c-work.co.jp/jpa39/index.html	生涯研修　専門6	運営事務局 株式会社コンベン ションワークス内 （011-827-7799） jpa39@c-work.co.jp お申し込みはHPにて
令和8年10月16日（金） 14：30～16：30	北海道自治労会館 （札幌市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・ハラスメントと法 合同会社Interno 公認心理師・特定社会保険労務士　江黒　照美 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修 実地1.5・専門1	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
令和8年10月17日（土） 11：15～17：10	北海道大学医学部 学友会館　フラテホール （札幌市） 定員：120名 受講料：2,000円 **※日本産業衛生学会 北海道地方会会員は無料** （事前に申し込みが必要です）	【日本産業衛生学会北海道地方会】 －令和8年度日本産業衛生学会北海道地方会大会－ 教育講演（13：30～） ・気候変動下における環境保健と職場の対応 国立環境研究所 気候変動適応センター気候変動影響観測研究室 岡　和孝 シンポジウム（15：10～） ・化学物質管理の新時代： 新たな化学物質規制への対応と産業医の役割 【シンポジスト】 北海道労働保健管理協会産業保健部　相澤　和幸 北海道大学安全衛生本部　川上　貴教 三菱ケミカル(株)　真鍋　憲幸 ※お申し込みはこちらから https://sites.google.com/view/jsohhokkaido/home	生涯研修 専門3.5	日本産業衛生学会 北海道地方会事務局 （旭川医科大学社会医学講座内） E-mail： jsohhokkaido-office@umin.ac.jp
令和8年10月21日（水） 18：30～20：30	旭川市大雪クリスタルホール （旭川市） 定員：80名 （事前に申し込みが必要です）	・改正労働施策総合推進法による治療と仕事の両立支援の努力義務化 北海道労働保健管理協会医療本部長　飯田　和久 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修　更新2	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月22日（木） 18：30～20：30	苫小牧市民文化ホール （苫小牧市） 定員：60名 （事前に申し込みが必要です）	・職場のメンタルヘルス －労働者が知っておきたいストレス対処技法－ 札幌心身医療研究所長　久村　正也 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修　専門2	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月23日（金） 18：30～20：30	ＴＫＰ札幌カンファレンス センター北３条 （札幌市） 定員：80名 （事前に申し込みが必要です）	・石綿関連疾患診断技術研修（基礎） 岩見沢市立総合病院内科　大塚　義紀 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修　専門2	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月24日（土） 15：00～17：30	グランドメルキュール札幌 大通公園 （札幌市） 定員：100名 ※下記URLよりお申し込みください https://x.gd/NTee1 （事前に申し込みが必要です）	令和8年度医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会 ○講演 ・男性育休から考える医療機関の勤務環境整備と組織づくり 釧路赤十字病院小児科　小野　翼 札幌厚生病院小児科　吉田　開登 ○シンポジウム「男性育休から始まる医療機関の働きやすい職場づくり」 ・男性医師の育児休業取得をどう支えるか －北大小児科での経験と医会の役割－ 北大環境健康科学研究教育センター副センター長　山口　健史 ・男性の育児休業制度について 北海道労働局雇用環境・均等部指導課長　鍋岡　順子 ・医療機関が取組むべき勤務環境の整備 北海道医療勤務環境改善支援センター医療労務管理アドバイザー／ 弁護士・社会保険労務士・認定登録　医業経営コンサルタント　奥野　舞	基礎研修　後期2 生涯研修　更新2	北海道医師会 事業第二課 （011-231-1725）
令和8年10月28日（水） 18：30～20：30	函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館 （函館市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・職場における産業医の役割 －産業医に関わる法律と職場での具体的事例の検討－ アンビシャス総合法律事務所弁護士・特定社会保険労務士　澤井　利之 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修 更新1・実地1	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて
令和8年10月30日（金） 18：30～20：30	岩見沢平安閣 （岩見沢市） 定員：50名 （事前に申し込みが必要です）	・職場復帰面接の対応の実際（事例検討） 北海道労働保健管理協会執行役員・札幌総合健診センター所長　原　俊之 ※同一年度内に同テーマの研修会を受講された方、される方は受講不可	生涯研修 実地1・専門1	北海道産業保健 総合支援センター （011-242-7701） お申し込みはHPにて

＊開催日が**太字**のものは、本号より新たに掲載されたものです。

注１：新規認定のためには、基礎研修50単位以上（前期研修14単位以上、実地研修10単位以上、後期研修26単位以上の合計　50単位以上）の修得が必要です（前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実際2単位のそれぞれの単位修得が必須）。

注２：更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位以上（更新研修、実地研修、専門研修各1単位以上の合計20単位以上）の修得が必要です。